

機運の醸成の取組事例

1. イベントでの文化庁移転の紹介(京都府)

(1) 観芸祭

日時:平成28年10月22日(土)～11月6日(日)

※文化庁移転の展示期間は10月22日(土)～28日(金)

場所:京都府庁旧本館(文化庁移転は2-C)

内容:旧本館の一室を用い、文化庁の京都への全面移転を紹介するパネル・パンフレットを掲示・配布する

(2) あすの Kyoto・地域創生フェスタ

日時:平成28年11月23日(水・祝)

場所:京都府立植物園

内容:大芝生地でのブースにおいて、文化庁の京都への全面移転を紹介するパネル・パンフレットを掲示・配布する

<パネル・パンフレット内容(案)>

大きく次のテーマで流れをつくり、文化庁移転のこれまでとこれからを紹介

- 文化庁の京都への誘致について(これまでの経過)
- 文化庁の紹介
- 文化庁が移転する理由となった京都の文化の魅力について
- 京都が持つ力(DESKをイメージして)
- 文化庁移転に関する現在の動向について
- これからの京都の文化について

2. 「プロフェッショナルに聞く!

～文化庁移転と文化芸術の未来～(京都市)

第2回「プレイヤーがいらない!?材料がない!?伝統音楽の未来」

日時:平成28年10月31日(月)午後6時30分～

場所:誓願寺

出演者:北原郁也、時田アリソン

ファシリテータ:平竹耕三

※全4回予定

3. 京都市生涯学習市民フォーラム

シンポジウム「京都から世界へ！市民が主役 暮らしの中にある文化
～文化の継承による日本の創生～」(京都市)

日時:平成 28 年 11 月 5 日(土)午後 3 時～

場所:京都堀川音楽高等学校2階アリーナ

出演者:松本紘、稲岡亜里子、門川大作

4. シンポジウム「京都から、日本の未来を展望する」

“文化庁の京都への全面的な移転決定

～文化力で日本を創生、世界に貢献”(京都市)

日時:平成 28 年 11 月 12 日(土)午後 2 時～

場所:ロームシアター京都サウスホール

オープニング:狂言「寝音曲」茂山良暢、山口耕道

パネリスト:池坊専好、佐々木雅幸、ジェフ・バーグランド、増田寿幸

コーディネーター:山極壽一